

<p>第2回 観音寺市民会館管理運営検討委員会議事録 【要約】</p>	場所	平成25年6月12日(火)19:00~21:15
	日時	三豊地区電子計算センター4階
出席者	委員10名(欠席1名)、事務局5名、事務局補2名	
議題	<p>(1)第1回観音寺市民会館管理運営検討委員会 会議録について  (2)新市民会館の使命と役割について  (3)事業計画について  (4)その他</p>	
<p>1. 開会 開会のあいさつ。</p> <p>2. 委員長あいさつ 委員長あいさつ。</p> <p>3. 議題</p> <p>(1)第1回観音寺市民会館管理運営検討委員会会議録について 資料を元に会議録について説明。修正内容を確認の後、内容を承認。</p> <p>(2)新市民会館の使命と役割について 資料を元に新市民会館の使命と役割について説明。</p> <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観音寺市は市民が自助努力で個々に頑張ってきた地域であり、市が中心的な立場になるという発想がなかったのではないかと。</li> <li>・国の法律についても読んだが、最終的には人を育てていかなければならない。そういった政策を市役所の中で完結せず、一歩踏み出し、検討委員会に力を与えてほしい。</li> <li>・財政難で人口も減っている中、元あった以上のホールをつくるので、もっと市民の主体的なものを巻き込んでいかなければならない。</li> <li>・観音寺で第九ができたきっかけは、個々に頑張っていた音楽関係者のネットワークがあったからだ。そこに白川市長が手を差し伸べてくださり市民音楽祭が立ち上がった。他の地域からみても仲がよいと言われる。</li> <li>・息長く育てていくという気持ちを市役所内部のどの部署がもってくれるのか、私たちはどこに協力していけばいいのかということをつくらなければならない。配布資料にあることを実行できればいいと思うが、誰がするのかということのをどのようにイメージされているのかを皆で話しあっていきたい。</li> </ul> <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくらイベントを企画する方や音楽を愛する方が頑張っても、地域がついてこなければ意味がない。悪い言い方をすれば、香川県の西の端にある観音寺市は、市外に目が向かず、市内にのみ目がいっていると地元で育ちながら思っている。これは、遠方にいる友人などからも指摘されることが多い。市民の意識を変えていくことは必要不可欠だ。いくら発表をしても、それに賛同し、来てくれる人を育てなければならない。そのために何をしなければならないかを今後検討していかなければならないと感じる。</li> </ul> <p>(3)事業計画について</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年後の新市民会館の開館にあたり、開館記念事業などをおこなう予定であり、早速検討をしていきたい。まずは、委員の皆様のご意見のこれまでの活動、新市民会館への要望などについてご意見をいただきたい。</li> </ul> <p>【委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、観音寺の文化団体は87団体あり会員数は1974名。観音寺地区は観音寺市民会館を、大野原は大野原会館を、豊浜は中央公民館を利用し活動している。舞台部門、美術部門、文芸部門、芸能部門、生活文化部門がある。2月に香川県文化協会</li> </ul>		

の西讃支部の美術展。3月に謡曲と舞囃子の会、観世流の春の舞を高松にある文化会館で開催している。5月に香川県の各流派が集まる合同謡曲会。7月に神戸観世会、松山観世会、高松観世会、観音寺観世会、高知観世会が、松山城の能楽堂か松山のホテルに集う。これらの期間の隙間を縫い、個人的に活動している。秋には仁尾の賀茂神社へ謡曲の奉納をおこなう。11月に観音寺市民文化祭、香川県文化芸術祭へ参加。9月に香川県文化協会の西讃支部の発表会、10月に姉妹都市である草津市との文化交流をおこなう。その他、合同芸能祭、民謡詩吟、日本舞踊、短歌会、お茶会、三豊地区の民謡祭への参加、福祉祭への参加、老人ホームへの慰問、などがある。国民文化祭へも出場している。

**【委員意見】**

- ・混声合唱団フロイデは、香川県の第九コンサートに出演するために、観音寺中央高校に設けられた練習会場に集まったメンバーによって立ちあげられ、25年目になる。2年に1回の定期演奏会の開催、毎年おこなわれる観音寺市民音楽祭への参加、香川県合唱連盟の音楽祭への出演や手伝い、最近声がかからなくなったが商店街のイベントへの参加など市民会館を主の舞台として活動している。今年はマリンウェーブで7月に定期演奏会を開く予定だ。

**【委員意見】**

- ・観音寺第一高校の吹奏楽部を担当している。関わりのある行事としては、毎年8月にサマーコンサートを開催し、約1000名の来場者がある。9月から12月にかけて、大野原町萩まつり、観音寺市のグリーンフェスティバルでの演奏、駅前商店街のイルミネーション点灯式での演奏。7月に上市商店街で演奏させていただいている。年間を通してコンクールにも参加している。
- ・個人では、サクスが専門であり、毎年10月にアルファあなぶきホールで開催されるサクソフォンアンサンブルコンサートにおいて指導や指揮をしている。また、今年は4月に国分寺ホールで開催された第1回サクソフオーニーフェスティバル四国に出演・指揮をおこなった。サクス四重奏コーラゲン・カルテットの代表をしており、各種イベントやコンサートに呼ばれれば演奏をしている。
- ・観音寺第一高校はコーラス部や邦楽部もあり、そちらも活発に活動している。
- ・次に、要望事項についてだが、施設面に関してはほぼ決定していると伺ったが今からでも変更が可能ではないかと思われることについて書かせていただいた。1つは、搬出入口へのトラック専用通路がないので専用通路の確保ができないかということ。2つは、吹奏楽コンクールができるホールであってほしいということ。現在、県のコンクールは毎年アルファあなぶきホールで開催されているが、新市民会館が完成したら交代で開催できればと考えているので、楽器の出し入れがし易いようにしてほしい。
- ・運営面についてだが、普段よく利用するアルファあなぶきホールやマリンウェーブの良いところを挙げ要望として記載した。①練習、リハーサルのための特別割引パックや直前割などのリーズナブルな料金設定②市民による市民のための特別事業については使用料免除③時間単位の料金設定④休館日の廃止、または流動的運用⑤時間外の貸出しに柔軟に対応⑥県大会、四国大会、全国大会規模の大会、周年記念事業などや利用回数の多い団体への2年前予約可⑦インターネットによる空き状況の確認や各種申請⑧市民会館名称のネーミングライツの売り出し、企業による運営（指定管理者制度）⑨音楽ホールとしての音響に対するこだわり（椅子、カーペットが音響の障害にならないように注意）⑩音響、照明の専門の技術者を雇用して自前の設備で一般のイベントやコンサートを運営⑪プロオーケストラ、吹奏楽団、オペラ、ミュージカル、演劇などの積極的な招致⑫喫茶店、レストランの隣接⑬利用者のニーズに合わせた柔軟な対応⑭自主事業の積極的な開催⑮利用者を増やす営業努力が必要。

**【委員意見】**

- ・香川県にある120名による香川県音楽連盟の理事を勤めている。今年で15回目になるが、観音寺でピアノと童謡声楽のコンクールを開催している。高松では、今年で30回目を迎える香川ジュニア音楽コンクールもおこなっている。習うだけでなく、発表し賞状を貰うことにも意義があると思っている。学校単位で出演していただいている。歌は保育園から出演可能。高校へ音楽で入学する方も増えている。家族の方も我が子がステージの上で頑張っている姿を見て「うちの子もなかなかやるな」と思っていただけ、年々応募される方も増えている。ピアノが95名～110名程度、歌も同程度の人数である。夏に2日間にわたり観音寺市民会館で開催させていただいている。7月末が小学校、8月中旬が中学校と高校となっている。観音寺での開催は高松の後ということで、課題曲も両方出場できるように門を広げている。今年は市民会館がないので、グランドホテルのホテルを借りて開催を予定している。
- ・個人的にピアノ教室をしており、発表会の時は市民会館を使わせていただいていた。子どもたちは大きなステージを経験することで、学校などでも手を挙げる回数が増えたり皆の前で発表ができるようになったと喜んでいただけた。
- ・演歌であれば座布団を持って早くから来て並んで聴きに來るが、クラシックにはあまり興味持っていないように思う。
- ・個人的に街の中心にある喫茶店で2ヶ月に1回サロンコンサートを開き、会社帰りの方やお客さまによかったと仰っていただいたのだが、体力が続かず2年で終わってしまった。また、グランドホテルで中学校の合唱部と共演するなどいろいろな方と一緒に活動をしてきた。市民会館でも様々な団体と連携して演奏していただき、また、多くの方に聴いていただける機会を増やしたいと考えている。

#### 【委員意見】

- ・270名の会員がいる観音寺音楽協会の事務局をしている。年4回演奏会をおこなっている。地元で活動している方だけではなく、香川県、特に観音寺市出身の学生や卒業して間もない若いアーティストが演奏する機会とまたそれを聴く機会を提供している。
- ・広報活動が非常に貧弱だと感じている。
- ・最近会員や事務局などでは、演奏をいろいろなところに派遣しようという話が出ている。
- ・個人的には、5、6年前から合唱のメンバーにも入っている。
- ・約15年前に、フランス人のバイオリニストと東京で知り合い、その人を呼んで、観音寺市の合併記念コンサートをおこなう橋渡しをさせていただいたこともある。その後、2回ほどコンサートもおこなった。

#### 【委員意見】

- ・観音寺中学校の吹奏楽部については高校と似たような活動をおこなっている。それ以外に、三豊観音寺地区の文化祭が2年に1回おこなわれ、合唱や合奏や吹奏楽やミュージカルのようなことを発表する。
- ・合唱コンクールはどの中学校も校内でおこなっている。そういった発表会を市民会館でできればと考えている。
- ・観音寺第一高等学校の定期演奏会は夏だが、観音寺中学校は春にある。
- ・中学生が何かをおこなうと、保護者がついてくる。その保護者にいいなと思ってもらえればと思う。例えば、マリンウェーブであれば、500円で鑑賞できるワンコインコンサートがある。また、ミニ講座のようなものを開き、その後成果を発表する場があると、保護者の方から広がっていく気がする。
- ・観音寺を盛り上げようという運動や活動もおこなわれている。瀬戸内国際芸術祭を媒体にした活動もある。つい先日では、駅前ワールドカップの予選試合を観戦するパブリックビューイングがおこなわれていたと聞く。そういったことも含め、地域を盛り上げようとしている方達と連携を取っていくことで、市民会館だけではな

く観音寺市街地を中心に盛り上がっていただければいいなと考えている。

**【委員意見】**

- ・個人的に、中四国ハワイアン協会でフラハーラウモアニケアラに属している。
- ・どの習い事をしている方も同じだと思うが、発表の場を探していると思う。新しい市民会館に皆さんとても期待をしている。
- ・フラダンスでは、発表会やボランティア活動として介護施設や保育所で踊らせていただいている。個人的なイベントに呼ばれることもある。チャリティーコンサートにも参加したことがある。昨年は8月に開催された歌謡ショーにも呼んでいただいた。「この音楽祭でフラダンスを踊るのは大丈夫だろうか」と心配したが、目新しいものとのコラボレーションということで興味を持っていただけた。
- ・新しくできる市民会館でここにいらっしゃる方と何かできればいいと思っている。
- ・個人レベルでイベントや講演会をおこなっており、地元を盛り上げようと観音寺で会場を探すのだが、既に会場が埋まっっていて個人ではなかなか借りることができない。個人の利用が制約されていると感じるので、規約的なことも改善していただきたい。
- ・市民講座や定期的なコンサートなども、既に活動している方だけではなく、これから始める方でも使える憩いの場となってほしいと思う。
- ・地域外の方とも交流をし、高松や東からでも来てくれる市民会館になってほしいと思う。

**【委員質疑】**

- ・今の話の中で、個人で予約を取れなかったとあったが、今まではそうだったのか。

**【事務局回答】**

- ・基本的に催物の有料・無料や個人・団体の違いで借りることができないということはない。基本的に先着順だ。

**【事務局回答】**

- ・最近では圧倒的に抽選が多い。また、審査を行っているところもある。例えば、企業の説明会と文化的公演が重なった場合、文化的な活動をおこなっている方を優先させるという利用規約を設けている施設もある。

**【委員意見】**

- ・昭和50年頃から商店街のイベントに関わっている。当時の商店街のイベントとしては、7月に土曜デーがあり、12月に誓文払いがあった。年末には歌手を呼び、招待券を抽選で渡すイベントがあった。これは7年ほど続いた。北島三郎、山口百恵、本田美奈子、郷ひろみ、沢田研二などを招いた。バックボーンとして観音寺にプロダクションがあり、商店街とプロダクションがタイアップしていた。
- ・銭形祭りでもカラオケ大会の決勝戦をおこなうなどした。
- ・商店街のミッドナイトセールにて、松山のジャズアーティストを呼んでジャズライブコンサートを10年ほどおこなった。
- ・ここ5年前からは、観音寺を盛り上げようと、Re:born.k(リボーンドットケー)を立ち上げている。Re:born.kには、グループが3、4つほどあり、まち歩きや、Ustreamにて番組を放送したりしている。先ほど話が出た、サッカーのパブリックビューイングもRe:born.kの活動のひとつだ。
- ・この様な活動を行った経験から、主催者を集めるグループと、観客を動員するグループと、それをトータルにPRするグループというような部門が必要なのではないかと考えている。
- ・集客力をあげるためには、会員制度があればいいのではないかなと思う。
- ・HPやTwitterやFacebookを活用して情報を発信していきたいと考えている。
- ・観音寺の商店街で演劇をしようという企画があり、現在予算を申請中。
- ・7月20日から8月のお盆までの間に、観音寺市出身でお笑いタレントであり画家でもある吉本興業に所属している横山泰三さんを招いて、小学生を対象とした絵画

教室をおこなうことを考えている。

**【委員意見】**

- ・個人的に芸術活動はしていないのだが、今年で50年を迎える民主音楽協会という音楽団体の地元責任者を勤めている。約5年前から市民会館の大ホールを借りて年2回公演をおこなっている。

**【委員意見】**

- ・観音寺国際音楽フェスティバルを主におこなっている。これまで6回、2年に1回のペースで開催している。約1週間の間に、月曜から金曜までは「はぐくみコンサート」という3グループ程度に分かれ市内の小中学校で演奏をおこなう。途中、比較的小さめのコンサートを開催し、最終日の日曜日にメインのコンサートを開催する。発案は一緒に活動していたピアニストの方だ。生徒だけでなく先生や保護者の方もお見えになるので、音楽を聴く方は全日あわせると7000～8000名程度になる。コンセプトは、子どもたちに良い音楽を聴いてもらい、音楽を生涯の友としてもらうこと、同時に若手の音楽家を育成していきたいという2つの思いがある。いろいろな変遷を経ながら、5回目から学校公演については思っていた形になってきたと個人的には思っている。進行をする者も成長したためか、子どもたちの反応がよくなっている。始めたばかりの頃の固い雰囲気なくなり、特に小学校低学年の雰囲気は大きく変わってきたと思う。今後も2年に1回は続けたいと思っている。人との繋がりができたことにより、こういったフェスティバルが行えるようになった。約800万の予算で行っている。これまでは本公演も無料で行っている。もちろん一部の方から、お金をもらったほうがよいという声もある。本公演は1000～1100名の集客がある。地域公演でも300～400名の集客がある。比較的力のある方に演奏していただいているので、前は「こんな田舎でこんなコンサートがあるのか」と驚かれた。アーティストが快く学校へ行って子どもたちと楽しく交流をはかってくれている。子どもたちも慣れてきて、一緒に写真を撮ったり楽しんでいる。そういった土壌が少しずつ育ってほしいと思っている。

**【事務局質問】**

- ・お話をきいてコンテンツとしては非常に充実していると感じた。音楽系の活動をされている方が多いが、それ以外にオペラや演劇などの舞台芸術系に対して市民はどういった関心をお持ちなのだろうか。

**【委員回答】**

- ・それほど多くはなかったが、昔は劇団四季を東京から呼んで公演したことがある。昔は演劇団体もあったが、現在はほとんどない。

**【事務局質問】**

- ・高校生はいかがだろうか。

**【委員回答】**

- ・学校の行事で毎年4月に芸術鑑賞会が行われる。全校生徒が観音寺市民会館に行き鑑賞をする。演劇と音楽と古典芸能を3年毎に順番に鑑賞する。音楽であれば関西フィルハーモニー管弦楽団のオーケストラ、古典芸能であれば狂言、演劇であればミュージカルなどがある。

**【事務局質問】**

- ・ジャンルを超え一つの作品をつくりあげるといった活動をこれまで行ったことはあるか。

**【委員回答】**

- ・観音寺での例ではないのだが、自分のコンサートの時に朗読や影絵と合わせたことがある。文化教室と音楽という組み合わせもできるのではないかと思う。

**【委員意見】**

・最終的に誰が芯になってまわしていくのかということが重要な議題になるだろう。

**【事務局意見】**

・どういった組織で運営をおこなっていくべきなのか、どういった専門的な職能や知識を持ったスタッフが必要かということも今後議論をしていただくことになる。

**【委員意見】**

・新市民会館が中心になってほしい。これは、行政ができることではないか。市、という信用もある。市にプロデュースをしてほしい。

**【委員意見】**

・発表の場や参加したいと思える場を提供していかなければ、新市民会館は生きてこない。先日京都で「ものづくりアートタウン」というイベントが開催されていた。それは京都市が中心になって運営をしているらしい。各地から発表の場を求めて人が集まっていた。ネットを活用することも大切だが、実際に目で見てもらう場を提供することは必要なのだと改めて感じた。今回、たまたま体育館の跡地が多目的に利用できるスペースとなっているのでそういったことも考えていけばいいのではないか。

**【委員意見】**

・保育所の団体のレベルの高い発表を観たことがある。保育士の先生が出ることなく、大きなステージの上で最後までやりきっていた。そういったことに協力するための市民ボランティアのようなこともできるのではないか。

**【委員意見】**

・市の関わり方、どういった方が中心になってやっていくのかなどが今後の議論の中心になってくるだろう。折に触れながら今後議論を進めていきたい。

(4) その他

**【委員意見】**

・開館イベントのスケジュールに関して聞きたい。具体的に決まっていないのはわかるが、我々も通年の活動などがある。3年先というのは直近の話だ。

**【事務局回答】**

・現段階では具体的なことは決まっていない。時間を要するもの、直前でも間に合うものもあるだろう。市としては前向きに検討していきたいと考えている。

**【事務局回答】**

・予算の関係や、管理運営計画の策定の時期にもかかわることだ。しかし、先行して動かなければ間に合わないものもあるだろう。遠くない時期に議論いただき、その内容を元に市で検討をおこなっていく。

**【事務局説明】**

・第3回の検討委員会では、他市の状況も踏まえ資料をそろえさせていただくので、もう少し具体的に踏み込んだ内容で議論いただきたい。  
・第2回検討委員会の日程については、7月18日(木)19時から三豊地区電子計算センター4階にて開催の予定をしている。開催の2週間前には資料を送付する。

4. 閉会

閉会のあいさつ。

以上